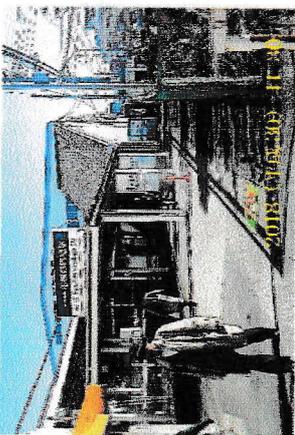


昔は花輪とよはれたの

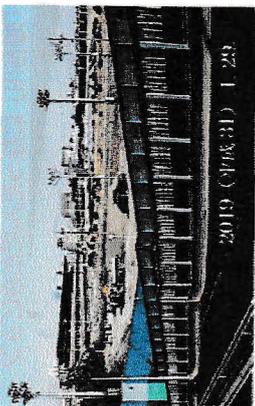


住まいのちよひ駅、京成「船橋競馬場」。住所は宮本。各駅と快速が止まる。写真の左手前方向、隣りの大神宮下駅（ダイジンミヤシタ）ではありませんよ、民放の女性アナさん）までが高架になっていて、ここから右奥、千葉方面へは地べたを走る。

千葉側の隣りにかつて谷津遊園地があった。入口までこの駅から線路がひかれていて、そのときは「花輪」(ハナワ)だったそうだった。谷津遊園地の一部は現在、「谷津バラ園」として残っている。競馬場が開業して「船橋競馬場」と改名。ヘルスセンターがオープンすると「センター競馬場前」となった。市川学園写真部の顧問の時、撮影会をヘルスセンターで行なった。ほとんど思い出せないが、写真が残っているものでそうなんだろう。部長のA君が面倒見がよくて、まかせっぱなしだったので記憶から消え去ったのだらう。この時はセンター競馬場前駅だったわけ。そういう駅名の記憶はある。

ヘルスセンターが開業すると「船橋競馬場」に戻った。大学名を付けた駅があるが、大学が層々少くなる駅名を覚えてるのだろうか。跡地に大商業施設とかが出来るとまた変えることになるのか。

今は競馬場とよはれるの

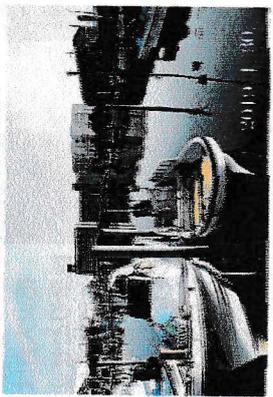


上は左写真の駅名の由来「船橋競馬場」。写っている歩道橋から場内を見渡せるが、競馬がある時に見ようとしても困難である。見たい人が群れるし、要所には目隠しが取付けられている。ふと、疑問が湧いた。競馬が時計回り（が多い？）なのはなぜか。

競馬場の地名は若松。左下に少し見えている大通りを挟んで左側が浜町。さらば一とがある。この大通りを左奥に進むと14号線と船橋競馬場駅にぶつかると。逆方向に進むと工場団地に入る。

漁師町には漁港あり

浜町は漁師町。だから漁港がある。写真は、台風や津浪から右端の切妻小屋の水門で守られている部分。ここでホンビノスやアサリが水揚げされているのだろうか。時を選べば、ヒトが小舟で漁場に向かう姿や、カモメやフヤパンやらの飛び回る姿や食事の様子を見ることが出来る。



浜町ものがたり 第1弾

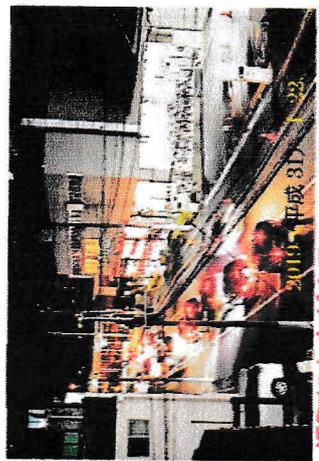
浜町にも雪が降る

上写真は雪の朝。東。数年に1度くらいはゆきも車もままならないほど積もった。京成もJRも止まる。休校となる。自動的に出動に及ばずとはならないが、勤労意欲はあっても家から出られない。微速前進の車や、駐車場から出ようとしてスリップを繰り返す車をのんびり觀賞する。

通りの右は山一證券のグラウンド。かなり広い。草野球大会が開かれる。ラグビーの試合も見た。雪が降ると観世界となって、ちよとすごい。写真の時はコンピュータ・センターとやというビルの建設中で、作業員の倉倉や資材置き場やらが観世界を野暮にじゃましている。

通りに車が並んでいるが、道路交通法違反である。この頃は交通量が少なくて駐車場がわりにきれいでいた。

正面突き当りは船橋競馬場。馬は美しい。走る姿は芸術品だ。とはカさんの言。この町に住み始めた頃は、胡散臭いヒトカゲがうろろろしていた。現在はナイターを行なうなどして、船橋市の財政に多大な貢献をしている。はずだ。市民税がいらないなるくらい稼いでくれないものだろうか。



浜町にも夜が来る

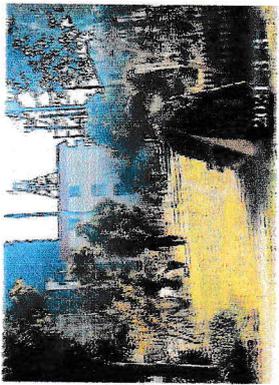
左写真と同じ場所の32年後の夜景。山一證券はまさかの消滅。山一がつぶれたら日本もオシマイだなと言っていたが、日本はつぶれずに存在し続けている。

山一證券の跡地に出来たのが「ビビットスクエア」というショッピングセンター。写真右中ほどにある広場のような所は、この通りに面して2か所ある商品搬入場所の一つ。救急車はここに乗り入れる。

浜町にも公園がある

私がムシ探しする場所のひとつ。適当に整備され、適当に荒れている。犬がヒトを連れて散歩する。保育園児の町内巡幸コース。左の木立に隠れて京葉道路。突き当りの建物のさらに向うに競馬場。風の便りの秘密基地は写真の右手百m。

町内には小さい公園がいくつかある。



むかしヘルスセンターがあった



前頁上左写真と同じ日の反対側、西、東京方向。通りの左側が山一證券。このブロックの左隣りまでかつては海だった。埋め立てられて昭和30年、「船橋ヘルスセンター」が出現。「娯楽の殿堂」といわれ、「週間発売」の「全国温泉コンクール」で2位に輝いた。ハトを乗せた記念碑が令和の今も建っている。ヘルスセンターの海側に滑走路が造られ、中央航空という会社がゼスナで遊覧飛行をしていた時期がある。

ある日、JR船橋駅からバスでヘルスセンター前までゆられ、飛行場に行った。夕暮れて暗くなるまでゼスナを写した。中央航空は人身事故を起し、昭和44年つぶれた。飛行機事故は大手でも大変だが、小さい会社は即信用失墜倒産で消え去ることとなる。

「船橋ヘルスセンター」は昭和52年まで存在した。後に出来たのが「ららぽーとTOKYO-BAY」という商業施設。さらに後に、写真の山一證券が撤退した跡地に造られたのが「ピピットスクエア」という商業施設。似たもの同士が隣り合って、共倒れとなるのではないかとヒトコトながら心配した。両方ともなんとなく繁昌している。埋め立てはききりに進んで、工場団地が造られている。

むかしもいまも月はある



十六夜の夜明け少し前。左写真と同じ方向の32年後。高くそびえるマンションの脇に輝くのは十六夜の月。月の下は東京サブク。住まいは、月の出から入りまでを観察できるといふロケーション。太陽も同じということ。夏はネエ・察して。

写真に写る白く長い建物は「ピピットスクエア」の駐車場。トラックが入ろうとしている所は前頁のとは別の搬入口。

浜町は漁師町

浜町という名前は新しいが、元々この辺りは漁村であった。今も漁師は多いようだ。祭りの時には大漁旗が掲げられて、漁師町であることを再確認する。

写真は「赤橋」と呼ばれる町の境目の橋。向こう側が浜町。世が世なら怪しげなよそ者の出入りを「番太」が見張ってムラを守った場所だろう。見張り役が実際に居たかどうかは知らない。



下を流れるのは漁港から続く船溜まりと呼ばれる水踏の末端近く。海老川の支流。

頼朝来た エビ食べた 喜んだ それで「海老川」になったんだとさビヨン



京葉道路下から上流側。分がりにくい中央上よりに14号線に架かる船橋橋（さなばしはし）が写っている。

左手が東京・上野方面で、川をさかのぼった左手に京成大神宮下駅がある。右手が千葉・成田方面。写真右端の橋は架け替え中の新船橋橋。このあたりも漁船でなんとなくごたごたしている。

浜町大爆発 / ワンだドン この辺で火事があったのホントだメラッ

浜町に住み始めた時には、ビール飲みながら打ち上げ花火が丸々見えた。左に写るのっぴマンションができてからは半分ほども見えない。眺望権の侵害だ。

九十九里の一宮川で、ほぼ真下から打ち上げ花火を見る機会があって、下から見ても真ん丸なことを知った。少し妙な気分がした。

花火大会は、市民祭りとセットのように行われる。華やかでどこか寂しい。サクラに似て、日本人ごのみというこのようだ。



水にさわれぬ親水公園



護岸がかさ上げされ、一部が親水公園に整備された。親水というが、水に触られるほど川と親しくお近づきにならない。(第13号 1p 写真参照)

横長の白い帯は京葉道路。その手前の二つ窓は水門。水門のこちらにも向うも漁港。この辺りが花火大会の会場となる。この堤防のすぐ右は、工場団地に通じる道路。花火大会時間中は通行止めで、その前後、始まる前と終わった後は自動車と人で埋まると。その時間帯に、車をうっかり乗り入れてえらい目にあっただことがある。

普段の公園は、人ごみが出来るほどではないので、のんびり散歩するにはよいかと思います。ちよとうと浜町保育園の皆さんがやってきたところをハシヤッター。この右手に商業施設ららぽーとがある。

船橋市の市民祭りの主会場は船橋駅近くの本町通りだが、近年増えたフラダンス教室のグループが、町内のららぽーとや公民館、そしてこの親水公園でも練習の成果を披露する。そのグループが本番のあのナリで歩いて移動する。皆さん大層美人に見える。新型コロナウイルス除けのマスク顔も皆さん美人に見える。食品工場で働いている時、だれもかれも美人に見えたのもマスクと制服のせいかな。

スバリ富士山

とてもじゃないが山登りなんてでき
ない。ところが3、4回は登山してい
る。学校の遠足でも山登りしたので合
計はもっと増える。

市川市立図書館に居る時、1週間お
いて続けて誘いに応じたことがある。
元氣だったのでしようね。

下の写真は、図書館のWさんと登
った三つ峠で写したものの。出会うと誰
でも写したくなるのが富士山。休憩し
ているのは私です。



1960 (S36) 11/20~21 三つ峠登山
円筒状成層火山、噴火に備えてヘルメットとゴーグルと
マスクを初めに購入しています

続いて右下の写真をご覧ください。
市川中学校の体育大会で、東京オリン
ピックの記録映画なみの名シーン撮影
に挑む私の雄姿です。実は、三つ峠の
とこちらの2枚ともちよっぴりです
がいたずらしてあります。

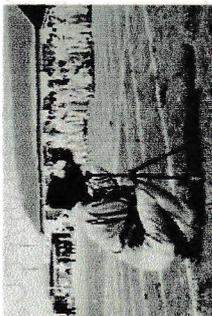
UIPO だ宇宙人だ妖精だ背微塵だ、
とかの写真や動画でインチキが知られ
ています。機能やテクニクが発達し
て、悪意でなくても、細工が簡単に

さるようになってきたので、ウソがま
ます分らなくなってきました。撮
影者の細工でなくて、カメラの機能そ
のものによって、想定外の画面が出来
ることもあるそうです。

写真だから真実を写し撮っている、
とは書えなくなっているのです。

以前、ホンピノスカイのことを調べ
ている時、図書館員がインターネッ
トで検索したと、見せてくれたコピーに
「この記事は検証可能な参考文献や出
典が全く示されていないか、不十分で
す。出典を追加して記事の信頼性向上
にご協力ください。フリー百科事典『ウ
ィキペディア』(2014年5月)」とありま
した。記事がウソであっても、論文の
中に引用した途端に事実として流布し
てしまうわけです。

放送で流れたり、印刷物になってい
たりすると、信じていささかも疑わな
い私は特に気をつけなければと反省す
るきようこのごろです。



市川中学校・体育大会 限しい感じですが、時間、場所
の切り取り方でこういう写真になることもあります。写
真館の顧問をしていたが、それとは関係なく、図書館に
記録を踏すと称して行事や日常を写していた。なので記
録は全部図書館に預けた。今も保存されているかな。
写真館員撮影 1968 市川学園第2校舎



2021(令和3) 6月
船橋市浜町 辻 秀幸

翔べ！シーガルズ

アメリカンフットボールの日本選手
権「ライズボール」で、オービックス
ーガルズが優勝。このチームは習志野
市に本拠地を置く、社会人クラブチー
ム。仕事に就きながら合間に練習して
いる。優勝戦で、大学王者・関西学院
大を圧倒した。

健兜の騎士を思わせる姿でぶつかり
あう様子が勇ましくて見始めた。しか
し今ひとつ分らない。ボールを抱え
込んで走るので今どこにボールがある
のか。相手ボールをうまいこと横取り
した、と思ったら反則だったり。

ラグビーにも興味を持ったが、やは
りわかりにくい。

面白くなってきたのは、テレビ解説
のお蔭。特に近頃は、ストップモーシ



アメリカンフットボール(NFL)ワイルドカード ス
ティラーズvsプロボウルズ
劇場のこの書き組まっただけです という解説画面
9/20/16, NHK BS1 録画面 から



ヨントンチ・グロブス連年のスタート NHK BS 「究極のヨットレース」 2021/5/1 画面から

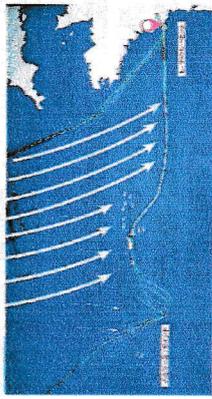
ヨントンチ・グロブス再生とが画面への書き
込みとかが加わり、解説者も上手にな
った。テレビ観戦者にとっては楽しさ
倍増となった。

見ただけでは分からないスポーツで
は、外洋でのヨットレースがある。現
場で応援しようにも、港からスタート
する時とゴールする時しかヨットの姿
を見ることができない。一体どこをど
う進んでどの艇が先なのか後なのか。
ヨットには、カメラや全地球測位シ
ステムなどが備えられていて、適時テ
レビ放映される画面で、各艇の位置が
示されるなど、テレビ観戦者や世界中
のファンがインターネットで興奮する
よう仕組まれているらしい。ヨットに
セットされたカメラで、低気圧に巻き
込まれてマストが折れたの底に穴が開
いたのを見せられるから、死ぬ危険と
隣り合わせなんだ、よくやってられる
など、ヨットのことなんぞまるで知ら
ない人だちも惹きつけられ、スポンサ
ーも増えるだろうというわけだ。

ヴァンデ・グロブスという、一人乗
りの外洋レースに自石なにかという
日本人が挑んだ予選・本選の記録を見
た。予選の記録番組では、白石選手
が、ゴール間近で先行する艇を一つ
でも追い抜こうとした努力の様子が

絵で示された。横風を利用してひと工夫した、なるほどフォーム、一つ追い抜いて予選通過の10着でゴールした、なるほどなるほど。

本選はおよそ3か月かけて世界一周を競う。



ヴァンデ・グローブ予選 (2016) 矢印が風の向き、その下を右端の赤田(コール: フランス・レサール・ドロンタ) に向かう横線が、白石選手が想定したコース。中級あたりの点々が他の艇。9月21/26、NHK・BS「実況のヨットレース白石選手 島の11日間」から

これなんかもテレビで分かりやすく編集され解説されているから面白いのだから。ヨットが静かな海を一つだけはずっかいいいになって滑っている実況だったら、ロマンだねーというだけだろう。

突然ですが相撲。くわしくないがいつもの見せしめが相撲。外国出身の強い力士が増えた。それはいいのだが、相撲が単に勝ち負けを争うスポーツではなく、宮中の行事から始まった神事という面が強が残っていることを理解してないのではないかと思われる力士が居た。そんな目から、所作が折り目正しく感じられる力士に好感を持つ。

少し前のほうましよう(豊真将)と

いう力士が、勝っても負けてもきっちりはっきりした所作で顔を覚えた。

体が小柄ながらりとが地元出身とかが気になる力士がいる。最近では、七びざる(翔猿)。私の生まれは江戸川区出身。地元小岩駅には横綱栃錦の銅像がある。

プロ野球では今季、トラがなぜか威勢がよい。なぜかはキさんに聞くとして、高校野球。あまり見ないが、千葉県の高校の試合となると見なくなる。

高校野球に限らず、地元チームが気になる。船橋市を本拠地とするチームには、バスケットボールの千葉ジェッツ(6/1 優勝決定戦。結果は?)と、ラグビーのクボタスピアーズ(おしくも優勝戦に進めず)がある。どちらも結構強いので、新聞でもテレビでも名前が出ることもあり、楽しみにしている。(3頁下の絵参照)

柏市ではサッカーJ1で柏レイソルズががんばっているが、今年は芳しくない。などなど詳しくないながらも応援したくなる。

レフェリー

サッカーやラグビーを見ていて、審判に興味を持った。

テレビ画面は選手が右左左する様子や、あちこちに蹴飛ばされるボールを追う。審判の姿を追うことはない。が、肝心な時、肝心な場面にはちゃんと審判が画面に入っていて、きっちりど自黒つけている。

審判が、試合中走りっぱなしでは冷静な判定どころではないだろう。選手以上にゲームに通じていて、予測して走ったり止って待ったりして、それがかんりの確率で当たりとなっているのかな、なんて思う。

助手を含めても少人数で取り仕切るので、見えないかたたり間違えたりする。近頃はテレビが助っ人として見張っていて、ストップやスローで再現して手助けしている。

アメリカンフットボールでは、秒単位、ヤード単位で試合が進むが、ボールが止まった位置はレフェリーが目で見判断し、ボールを無造作に置く。ところが、基準の線までの距離が微妙だという時には、チェーンとかいう物指が登場して「チットタランガヤ」「ンダネ」とやる場面がある。細かさといいかげんさが同居していて、これはこれで面白い。

審判、レフェリーに注目してスポーツ観戦するのはいいかがでしょうか。

ライト前ヒット

小学低学年のころは体が大きい方だったので、徒競走は自然の成り行きでトップか2着だった。学年が進むと下半身の成長が追い抜かれて、段々ビリに近づく。徒競走だけでなく走ることも自体嫌いになった。

会社に入ると、社長がアンダーズロ一のピッチャーの草野球チームに入らされた。朝早く始業前に亀戸のグラウン

ドで試合する。ベルトが見つからなくて奥さんから借りたと言って、赤いこきを締めてきた先輩が居た。そういうチームで、一度だけヒットをかつ飛ばした。実は振り遅れたバットにだまだまだまが当たってくれただけの事。

ということでもスポーツはもっぱらテレビ観戦。

かなりいい加減、無責任に観戦していて、考えただことがある。

突如という感じでずば抜けた成績で大注目される選手が現れる。ところが早ければ翌年には姿を消す。甲子園で大騒ぎされ、プロ野球のドラフト会議で1位指名されて入団しても、いつの間にかいなくなる。大相撲で番付の下の方の力士が関脇大関陣にバンバン勝って大人気になったが、次の場所からはさっぱり。

いろいろな理由があるのだから、もともと優れた力をもっていて、ある時突如としてレベルアップしてオオオオ手したが、相手が研究・鍛錬すると追いつかれ追い抜かれる。それに知して本人には油断・慢心もあって、切磋琢磨を忘れた、という見方はどうだろうか。栄光に目が眩んだとか、甘い誘惑に乗っかってちゃったとか、かな。



クボタスピアーズ 千葉ジェッツ